

恵みの海と縄文

陸奥湾と三内丸山

三内丸山遺跡センター15周年記念特別展 第1部



銚頭
縄文時代前期
(紀元前3,900年)



釣針
縄文時代前期
(紀元前3,900年)



魚の骨(マダラ・ブリ・ヒラメほか)
縄文時代前期
(紀元前3,900年)

2024.4.13(土) - 6.23(日)

会場

三内丸山遺跡センター 企画展示室

観覧料

一般 700円(560円)

観覧時間

9:00~17:00 (4月13日(土)~5月31日(金)、GW除く)

9:00~18:00 (GW、6月1日(土)~6月23日(日))

※入場は閉館の30分前まで

高校生・大学生 350円(280円)

中学生以下無料

休館日

4月22日(月)、5月27日(月)

()内は20名以上の団体料金

※特別展観覧料で遺跡を含む常設展もご覧いただけます。

主催

三内丸山遺跡センター



恵みの海と縄文

陸奥湾と三内丸山

津軽半島と下北半島にいだかれた陸奥湾は、縄文時代の人々にとって大切な恵みの海でした。本展では、三内丸山遺跡から出土した魚の骨や漁の道具をはじめ、陸奥湾沿岸の遺跡からみつかった塩づくりの土器などを展示し、陸奥湾が育むさまざまな生き物と縄文時代の豊かな暮らしを解き明かします。

1 | 陸奥湾をひもとく

陸奥湾の特徴や関連する出来事について解説します。

2 | 海と生きる—三内丸山—

三内丸山遺跡の人々が利用したさまざまな魚や利用方法について解説します。

- 魚の骨 (ブリ・サメ・ニシン・マダラ・カレイなど)
- 貝殻 (マガキ・アワビ・イガイなど)
- 海獣の骨 (オットセイ・アシカ・クジラなど)
- 漁の道具 (釣針・銚頭：重要文化財、石鍾)
- サメ椎骨製装身具 (重要文化財)
- 鯨骨製骨刀 (重要文化財)

3 | 恵みの海と縄文遺跡

1万年に及ぶ陸奥湾と縄文時代の人々の結びつきをたどります。

- 主な展示遺跡 | 明前(4)遺跡(野辺地町)
- 玉松台遺跡(蓬田村)
 - 岩渡小谷(4)遺跡(青森市)
 - 最花遺跡(むつ市)
 - 桧木遺跡(横浜町)
 - 今津遺跡(外ヶ浜町)
 - 大浦遺跡(青森市)



4/20±・21日 三内丸山縄文春祭り

参加無料 同時開催

5/11± さんまる縄文体験 「釣針を作って魚を釣ろう」
10:00-15:00 定員 20名 (事前申込制、先着順)

5/25± 特別展関連講座①
10:00-11:30 テーマ「三内丸山にみる漁労と狩猟」
定員 30名 (事前申込制、先着順) 講師：斉藤慶史 (三内丸山遺跡センター職員)

6/8± 特別展関連講座②
10:00-11:30 テーマ「噴火湾の漁労と狩猟」
定員 30名 (事前申込制、先着順) 講師：永谷幸人 (伊達市教育委員会職員)

※講座・体験への参加時に遺跡や展示を見学される場合は別途観覧料が必要です。
※申込方法等詳細は三内丸山遺跡ホームページをご覧ください。



お問い合わせ

三内丸山遺跡センター

TEL.017-766-8282

〒038-0031 青森県青森市大字三内字丸山305

